

# 平和教育 中・高校

## 原爆の論理と平和の考察～アメリカ兵の言葉と被爆者の言葉から～



中学校・高校 総合  
そして男たちはナガサキを見た

44分

修学旅行で広島や長崎を訪れる学校は多くあります。しかし、ただその惨状に衝撃を受けるだけでは平和への歩みとはなりません。なぜ原爆は投下されたのか、番組を通じてアメリカ人の目から見たナガサキについて考えることができます。また、被爆者の言葉から戦争のもつ「加害」と「被害」に迫ることができると考えられます。

### 番組活用のポイント

#### 「被害」の論理に限定されないという考え方

日本の戦争について授業で扱う際、日本軍による侵略や戦争の悲惨さ・残酷さが具体的な事例をもって取り上げられます。広島や長崎の原爆資料館を訪れば、その「被害」の側面をありありと感ずることができます。

戦後60年以上を経過して戦争体験の継承は重要な課題です。一方でそうした取り上げ方は、「日本」を主語にした「加害」や「被害」の論理に限定されがちです。平和教育に取り組むにあたって、戦争が起こった原因や、戦争の相手国の立場に立ったものの見方を学ぶことは大切です。

#### 「原爆を投下した兵士の声」「被爆した人の声」を聴く

番組では、原爆を投下したクルーが投下の1か月後に長崎を訪れたこと、そして彼らが原爆被害の現実を見て感じたことが語られます。そこには、原爆投下の意味を知っていた兵士のアメリカ側からする使命感と、被害を目の当たりにし、当時の行為を背負って50数年間を生きてきた人々の言葉から彼らの心情を考えることができます。また彼らの言葉と対比して、被爆者の家族の心境も語られているので、様々な立場の考え方を通して、学習者一人一人が原爆について考察するきっかけを与えることができます。

#### 「戦争の本質とは何か」を考えよう

日本に2発の原爆が投下された史実の背後にある両国家の意思を考え、学習者個人が原爆をどのようにとらえるのか、また、どうしてそのような考えに至ったのかをまとめることによって本当の意味で、戦争=悪という認識が育つと考えられます。



千葉県八千代松陰高等学校  
教務部長 井上 勝



1945年8月9日  
長崎に原爆投下  
長崎に原爆を投下したB29爆撃機



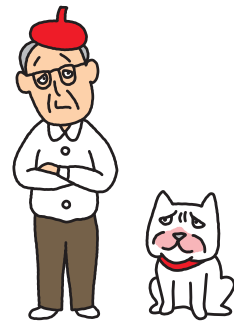
長崎の惨状を見た兵士ら

平和教育

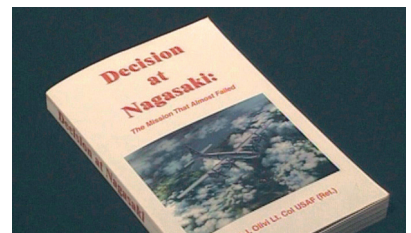
学習展開例

(ねらい) 核兵器の是非を考えさせることにより平和の大切さを再認識させる。

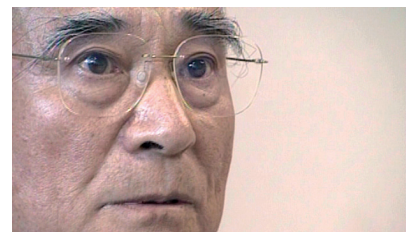
学習活動	指導のポイントと 教員の支援
1. 番組視聴 <b>視聴</b> TV (カウンタ 00:00~02:03)	◎原爆投下の事実を確認し、悲惨さを認識させる。  しかし、私は気を取り直しました。自分たちのしていることを考えたくなかったし、ただ戦争が終わることだけを願っていました。  私が確認できたのは予定照準点から丘をいくつか隔てた場所でした。何を優先するかの問題ですから仕方がなかったのです。
2. 番組視聴 <b>視聴</b> TV (カウンタ 20:56~28:11) 原爆投下兵士たちの発言から原爆を投下した当事者の心境を考える。	◎戦争という行為について考えさせる。  長崎について残念だったのは丘の上の病院が破壊されていたことです。爆発したとき大勢の人がいたと思うと心が痛みます。  亡くなっていった人はたまらんですよねえ。
3. 番組視聴 <b>視聴</b> TV (カウンタ 28:12~32:19) 被爆者の家族の発言から被爆者の心境を考える。	◎投下国の論理を考えさせる。  私たちも被爆した人たちに対して申し訳なく感じています。しかし、原爆投下自体は悪いとは思っていません。なぜなら戦争を終わらせてそれ以上命が失われることを防いだのですから。
4. 番組視聴 <b>視聴</b> TV (カウンタ 32:20~34:13) 原爆投下兵士たちの発言についてどのように思うか発表する。	◎戦争の空しさ、平和の大切さについて考えさせる。  戦争では全員が敗者になるということを知りたいと願っています。勝者なんてどこにもいません。
5. 番組視聴 <b>視聴</b> TV (カウンタ 40:11~43:17) 原爆投下兵士たちの発言をふまえ、感想をワークシートに記入させる。	そのあいだに原爆を使うような大きな戦争は起きていません。原爆は戦争に使うような武器ではないと人々は気づき始めています。それ自身が平和へのメッセージだと私は思います。



兵士が撮った長崎医大附属医院



長崎クルーの一員がまとめた回想録



無念さを語る被爆者の家族



現在の心境を語る元兵士

より効果的に番組を活用するために

番組で紹介されている兵士の言葉をリストアップし、それらから戦中と戦後の彼らの心について考えさせたり、真珠湾攻撃を行った日本軍兵士の戦後の行動を調べさせたりすることにより学習を発展させることができます。